

日本工業標準調査会標準部会(第49回)議事要旨

- 1 日 時:平成20年3月7日(金)10:00-12:00
- 2 場 所:経済産業省 第1・2共用会議室(本館17階東7・8)
- 3 出席者:二瓶部会長、飯塚委員、大山委員、小野委員(代理:松田)、塩沢委員、田中委員、富田委員、中西委員、長谷川委員、樋口委員(代理:石丸)、前原委員、宮入委員、宮沢委員、矢萩委員、若井委員
(オブザーバー:牧内 IPA/SEC 副所長、矢野 NITE 標準化センター長)
- 4 議 題:
 - 4-1 第48回標準部会(書面審議)の結果報告について【報告】
 - 4-2 「国際標準化戦略目標」を踏まえた国際標準化アクションプランの状況報告について【報告】
 - (財)日本規格協会、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構、(独)産業技術総合研究所、(独)製品評価技術基盤機構、(独)情報処理推進機構における標準化の取り組みについて
 - 4-3 基準認証を巡る最近の動向について【報告】
 - 国際標準化に関する関係府省庁連絡会について
 - 国際標準化活動の動向について
 - 適合性評価の動向について
 - 標準に含まれる知的財産の取扱いについて
 - 今後の国際標準創成のあり方について
 - 4-4 平成19年度工業標準化業務報告について【報告】
 - 4-5 平成19年度工業標準化業務計画の追加について【審議】
 - 4-6 平成19年度標準化調査研究の状況報告について【報告】
 - 4-7 専門委員会に属すべき者の指名について【審議】
 - 4-8 その他
- 5 議事概要:
 - 5-1 第48回標準部会(書面審議)の結果報告について
事務局から、資料2に基づき第48回議事録が報告された。
 - 5-2 「国際標準化戦略目標」を踏まえた国際標準化アクションプランの状況報告につ

いて

- ・ 事務局から、資料3-1に基づき説明された
- ・ (財)日本規格協会、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構、(独)産業技術総合研究所、(独)製品評価技術基盤機構、(独)情報処理推進機構の標準化の取り組みについてそれぞれの団体、組織から、資料3-2～資料3-6に基づき説明された

5-3 基準認証を巡る最近の動向－ 国際標準化に関する関係府省庁連絡会について、国際標準化活動の動向について、適合性評価の動向について、標準に含まれる知的財産の取扱いについて、今後の国際標準創成のあり方について

基準認証を巡る最近の動向として、事務局から資料4-1～4-5に基づき説明された。

国際標準化に関する関係府省庁連絡会についての主な意見は次のとおり。

- ・ 連絡会の活動を通して、各府省庁が標準化活動を効率的に取り組めるようにしてほしい。
- ・ 規制の中でJIS等の基準が活用されるよう、規制当局に働きかけをしてほしい。

今後の国際標準創成のあり方についての主な意見は次のとおり。追加的意見があれば、委員から書面で提出していただくこととなった。これらの意見は、今後の政策立案に活かしていくこととする。

- ・ 知的財産を獲得しつつ、標準化を目指す活動を支援するという考え方に賛成する。
- ・ 支援する対象としては、非競争的分野だけを対象にする必要はないのではないか。研究開発・知的財産では、明確に競争的、非競争的と分野を区別するのが難しい。
- ・ 研究者にとって知財を含む標準の事例や情報の共有が重要である。
- ・ 国際標準化する技術等に各国、各企業に押さえられている必須特許が含まれる際、事後的に法外なロイヤリティを請求されるケース場合があるので、その際どう対処するかを判断する組織があるとよい。

5-4 平成19年度工業標準化状況報告について

事務局から、資料5に基づき説明された。

5-5 平成19年度工業標準化審議計画追加について

事務局から、資料6に基づき説明し、了承された。

5-6 平成19年度標準化調査研究の状況報告について

事務局から、資料7に基づき説明された。

5-7 専門委員会に属すべき者の指名について

事務局から、資料8に基づき説明し、了承された。

以上